

2013年9月14日

各 位

## 大会のご案内

時下ますますご清祥のことお慶び申し上げます。

さて、日本オリエント学会第55回大会を来る10月26日(土)・27日(日)の両日、京都外国語大学において開催いたします。興味をお持ちの皆さまには、奮ってご参加くださりますようご案内申し上げます。

参加される方は、準備の都合上、大会参加費・懇親会費・2日目昼食弁当代のうち該当分を、10月15日(火)までに下記郵便振替口座にお振込みくださるようお願いいたします。これにより、参加申し込みの確認にかえさせていただきます。なお、ご入金いただいた参加費・懇親会費等は、不参加の場合も返却いたしかねますのであらかじめご了承ください。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

**大会参加費**：1,000円(会員)、2,000円(非会員)

**懇親会費**：5,000円(当日申込み 6,000円)

**昼食弁当代**：1,000円(大学周辺には飲食店がございますが、日曜日の昼食時で混雑が予想されますので、弁当を申し込まれることをお勧めいたします。)

**郵便振替口座**：00920-4-201990 日本オリエント学会第55回大会実行委員会

また、出張依頼状が必要な方、あるいは遠距離交通費補助(学会HP参照)が必要な方は、日本オリエント学会事務局へ直接ご依頼願います。

日本オリエント学会事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-9 東京天理教ビル9階

Tel. 03-3291-7519 E-mail: office@j-orient.com

それでは、京都で皆様のご来訪をお待ちしております。

日本オリエント学会第55回大会実行委員会

委員 堀川 徹 南 博史 横内 吾郎

大江 節子 稲葉 穰 東長 靖

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

京都外国語大学国際言語平和研究所内

E-mail: orient55@kufs.ac.jp

Tel. 075-322-6054 Fax .075-322-6245

## 日本オリエント学会第55回大会プログラム

2013年10月26日(土)・27日(日)

会場：京都外国語大学

### 第1日 10月26日(土) 14:00～20:00

公開講演会・学会奨励賞授与式

会場：1号館小ホール (171教室)

14:00 開会挨拶

14:10～15:30 尾崎貴久子 (防衛大学校・准教授)

「中世イスラーム都市社会の飲食」

15:50～17:10 泉 拓良 (京都大学大学院総合生存学館・特定教授)

「古代フェニキアの都市と郊外—レバノンでの発掘調査から—」

17:15～17:45 日本オリエント学会奨励賞授与式

18:00～20:00 懇親会 (会場：11号館2階ラウンジ)

### 第2日 10月27日(日) 10:00～16:30

研究発表会

会場：8号館843、844、852、854教室 (口頭発表)

8号館1階ロビー (ポスター発表)

主催 日本オリエント学会

共催 京都外国語大学国際言語平和研究所

10月27日（日）研究発表

第1部会(843教室)

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	藤井純夫 足立拓朗	アラビア半島北西部における先史遊牧民遺跡の分布調査
2	10:30-10:55	三木健裕	紀元前5千年紀、イラン南西部における鈍黄色黒彩土器の受容—タル・イ・ジャリA遺跡出土土器の分析
3	11:00-11:25	関廣尚世	古代スーダンにおける鉄器使用と製作技術試論
4	11:30-11:55	金井年	古代アナトリアにおける都市プラン
11:55-13:20			昼休み
5	13:20-13:45	堀岡晴美	マルトゥに関する表現の相違と背景
6	13:50-14:15	渡辺和子	エサルハドンの「王位継承誓約文書」新資料からみる契約宗教成立の背景
7	14:20-14:45	高橋優子	エサルハドン王位継承誓約文書と申命記—文学的依存関係再考
14:45-15:05			コーヒーブレイク
8	15:05-15:30	渡井葉子	紀元前1千年紀バビロニアにおける家—文書資料から
9	15:35-16:00	南部玲生	アルサケス朝後期における「諸王の王」—アルタバヌス2世とヴォログセス1世を中心に

第2部会(844教室)

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	河合望	アブ・シール南丘陵遺跡の岩窟遺構から出土したライオン女神像について
2	10:30-10:55	矢澤健 吉村作治	エジプト・ダハシュール北遺跡出土の新王国時代の黒色木棺について
3	11:00-11:25	近藤二郎	アメンヘテプ3世治世末期の岩窟墓のレリーフ装飾について
4	11:30-11:55	銭廣健人	葬送用コーンと印判付レンガの関係
11:55-13:20			昼休み
5	13:20-13:45	藤井信之	エジプト第26王朝期の将軍および提督たち—軍制の変化からみたサイス朝の支配体制
6	13:50-14:15	田澤恵子 中野智章 古川桂	ローマ支配下のエジプトにおける神殿についての一考察—アル・ザヤーン神殿（ハルガ・オアシス）の調査
7	14:20-14:45	四角隆二 阿部善也	サーサーン朝領域に流入した東地中海系ガラス
14:45-15:05			コーヒーブレイク
8	15:05-15:30	内記理	ガンダーラ地方における石積の年代
9	15:35-16:00	土谷遥子	法頭とオーレル・スタインがダレル渓谷から辿ったそれぞれの帰路—パキスタン北部地方『法頭の道』現地調査
10	16:05-16:30	青木健	福建省霞浦県「マニ教徒村」文物の予備報告

第3部会(852教室)

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	法貴遊	12世紀アンダルスの医学者による薬品の吸引作用に関する議論について
2	10:30-10:55	柳谷あゆみ	都市住民の降伏—549/1154年ダマスカスの事例から
3	11:00-11:25	大塚修	アブー・サイドとティムールの狭間で—イルハーン朝末期地方政権によるイラン概念の政治的利用
4	11:30-11:55	熊倉和歌子	16世紀ファイユーム地方の水・税・記録管理—オスマン朝エジプト統治初期の地方統治体制とその展開

11:55-13:20		昼休み	
5	13:20-13:45	堀井聡江	シャリーアの時効制度におけるカーヌーンの影響
6	13:50-14:15	秋葉淳	18世紀オスマン帝国における法の適用と法学書の流通—アナトリアにおける地域的多様性
7	14:20-14:45	塩野崎信也	「タタル」から「アゼルバイジャン」へ
14:45-15:05		コーヒーブレイク	
8	15:05-15:30	小野亮介	アメリカ人たちの見たカザフ遊牧民の大移住—1952年のスリナガル・キャンプ滞在前後を中心に
9	15:35-16:00	若松大樹	トルコにおけるクルド系アレヴィーの人々の宗教的実践と社会範疇の形成—預言者一族崇敬を通して
10	16:05-16:30	三代川寛子	20世紀初頭におけるコプト・キリスト教徒の民族意識形成—コプト語復興運動を事例に

#### 第4部会 (854教室)

	時間	発表者	発表題目
1	10:00-10:25	井上貴恵	ルーズビハーン・バクリー著『酔語注解』におけるハッラージュ思想解釈
2	10:30-10:55	宋暎恩	ジャーミーの『尊い真珠』に見られる合理主義と伝統主義の克服としての存在一性論
3	11:00-11:25	千葉昌子	16世紀ニザーミー詩編『神秘の宝庫』の描かれ方
4	11:30-11:55	所木綿子	アブドゥルカーディル・ジャザーイリーにおけるキリスト教と西欧理解
11:55-13:20		昼休み	
企画セッション			
テーマ「閉じた人文学から開いた人文学へ—資料のデジタル化がもたらすもの」			
企画代表 永井正勝			
	時間	発表者	発表題目
5	13:20-13:45	竹内茂夫	音楽資料のデジタル化—微分音などの記譜の共有に関する試み
6	13:50-14:15	菊地敬夫	古代エジプト壁画資料のデジタル化—アムドゥアト書の史料化を例として
7	14:20-14:45	江添誠	東地中海地域の初期キリスト教会堂遺構のデータベース化
14:45-15:05		コーヒーブレイク	
8	15:05-15:30		討論

#### ポスター発表(8号館1階ロビー)

発表者	発表題目
門脇誠二・赤司千恵・西秋良宏	新石器時代農耕民による穀物貯蔵の地考古学的研究—ギョイテペ遺跡の事例 (南コーカサス)
吉村作治・近藤二郎・西坂朗子・高橋寿光	エジプト・アメンヘテプ3世王墓第3期壁画保存修復プロジェクト
永井正勝	古代エジプト神官文字文書のアノテーション付与型データベース—Hieratic Database Project (HDB) の取り組み
関廣尚世	古代スーダンの製鉄技術復元試論—メロエ遺跡表採資料理化学分析成果を中心として
月本昭男・市川裕・長谷川修一・小野塚拓造	物質文化からみた形成期のユダヤ教共同体と鉄器時代末期の大型複合建造物—テル・レヘシュ第七次発掘調査成果報

